

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	28100 観光イベント事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		3	観光の振興	根拠法令	特になし	7	1	3	☒ 主な事業（重点施策） ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業
施策の展開		7	観光情報発信の推進	戦略事業	35	観光イベント事業			
施策の展開				戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●一年を通して行われる観光イベントへの支援やPRを行う。（実行委員会との打ち合わせ、補助金の交付やイベントの企画立案、準備及び後片付け従事。マスメディア（新聞、雑誌、TV、ラジオ等）を利用したイベント広報活動。ポスター作成。） ●観光イベントは、①実行委員会が開催（袋公園桜まつり、旭市いいおかYOU・遊フェスティバル、旭市七夕市民まつり、あさひ砂の彫刻美術展等）、②観光物産協会が開催（サマーフェスタin矢指ヶ浦等）③県等の団体、実行委員会が開催（ツールド千葉、JAFバスツアー）
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
主だった観光イベントは平成17年合併以前より、各市町（観光協会）、実行委員会が開催している。	市主催以外のイベントが活発に行われている。それらイベントを可能な限り自主財源で運営できるよう協力、指導していく必要がある。また、イベントの内容が多岐に渡り、市の協力の仕方も柔軟性が求められるが、市のイベント協力のガイドラインを定める必要も感じる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
市民が自主的に行うイベントに対して、テントの貸し出しや、会場や駐車場の使用許可など求められることが多い。また、新たなイベントの開催要求もある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
1. 七夕市民まつり補助金	8,000	毎年8月に開催されるイベントへの補助金		9,000	7,500	7,500	8,000	8,500
2. YOU・遊フェスティバル補助金	5,350	毎年7月に開催されるイベントへの補助金		5,374	5,374	5,350	5,350	5,850
3. あさひ砂の彫刻美術展補助金	1,500	毎年7月から8月にかけて開催されるイベントへの補助金		1,500	2,000	1,500	1,500	1,500
4. 広告料	2,458			2,458	2,458	2,458	2,458	2,458
5. その他	6,141	報償費・需用費・委託料・その他イベント補助金		6,020	6,211	6,030	6,141	6,614
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
1. 国庫支出金	0							
2. 都道府県支出金	0							
3. 地方債	0							
4. その他	13,350	地域振興基金繰入金						

前年度増減理由	七夕市民まつり補助金が第50回ミスあさひコンテストの事業費増額のため
---------	------------------------------------

従事職員数	常時	5人	最大	13人	×	6日	=	延べ	78人
-------	----	----	----	-----	---	----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

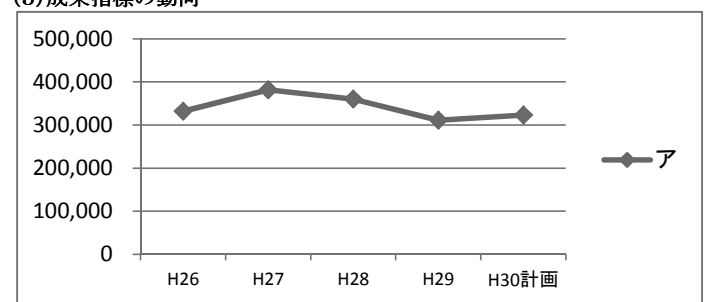
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動) 桜まつり、七夕市民まつり、YOU・遊フェスティバル、サマーフェスタin矢指ヶ浦、砂の彫刻美術展への助成		イベント開催団体	団体	5	5	5	5	5
			イベント開催日数	日	24	39	30	30	30
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	対象 ①市民②イベント参加者 意図 ①市民同士の交流が盛んになる。 対象意図		ア 年度別イベント入込数	人	331,700	382,000	360,000	311,500	323,000
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価優先度	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	比較
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア				25年度 26年度
	成果指標イ				26年度 27年度
					27年度 28年度
					28年度 29年度
					29年度 30計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)	砂の彫刻美術展の入込の減。(市内の入込の減。H28の開催テーマ「恐竜」が想像以上に人気があり集客があった。本年はそれ程人を集められるテーマではなかった。)				
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
	通年	経費を増加させること無く、観光客の誘致に繋がるよう、より効果的なPRを図る。	通年	入込が維持できるようにPRに努める	